

科目名 (Subject)	管理会計論Ⅱ Management Accounting II		
単位数 (Credits)	2 単位	開講時期	後 期
担当教員名 (Name)	乙政 佐吉 (英字表記) Sakichi Oomasa	研究室番号 (Office)	422
Office Hours	在室中はいつでも可 (できれば事前にメールで連絡して下さい)		

1. 授業目的・方法 (Course objective and method)

戦略を策定しただけでは「画に描いた餅」にすぎない。また、戦略の実行状況を測定したり、モニターしたりしなければ、戦略が意図された方向に適切に実践されているのか否か判断できないという事態に陥る。それゆえ、戦略を実行するには、管理会計システムが不可欠となる。講義では、このような戦略の実行や創発を促進するためのシステムとしての業績測定システムおよびその他のコントロール・システムについて、報告および討論を重ねながら考究する。

2. 授業内容 (Course contents)

第1週 (授業内容) オリエンテーション

(予習事項) なし (復習事項) なし

第2～3週 (授業内容) 戦略実行と業績測定・評価システム

(予習事項) 下記テキストの第1章・第2章を熟読の上、戦略とは何かについてまとめてくること

(復習事項) 戦略の計画化プロセスにおいて利用されるツールの長短所を考察してくること

第4～5週 (授業内容) 予算管理

(予習事項) 下記テキストの第5章・第6章を熟読の上、予算管理のプロセスについてまとめてくること

(復習事項) 実施する戦略によって差異分析において重視される項目がどのように変わるかを考察すること

第6～7週 (授業内容) 組織の分権化と業績評価システム

(予習事項) 下記テキストの第3章・第8章を熟読の上、組織の分権化と業績評価のあり方についてまとめてくること

(復習事項) 組織の分権化の長短所を考察すること

第8～9週 (授業内容) バランス・スコアカード (1)

(予習事項) 下記テキストの第4章・第9章を熟読の上、バランス・スコアカードの特徴をまとめてくること

(復習事項) 任意の企業のバランス・スコアカードを作成すること

第10～11週 (授業内容) 業績評価と報酬システム

(予習事項) 下記テキストの第11章を熟読の上、インセンティブのタイプについてまとめてくること

(復習事項) 業績連動型報酬システムが備えるべき要件について考察すること

第12～13週 (授業内容) マネジメント・コントロール (1)

(予習事項) 下記テキストの第10章・第12章を熟読の上、戦略リスクについてまとめてくること

(復習事項) 戦略実行のために業績測定・評価システムはどのように使い分けられるかを考察すること

第14～15週 (授業内容) マネジメント・コントロール (2)

(予習事項) 下記テキストの第13章・第14章を熟読の上、業績測定・評価システムと人間行動との関係をまとめてくること

(復習事項) 業績測定・評価システムの今後の方向性について考察すること

3. 使用教材 (Teaching materials)

ロバート・サイモンズ (著)・伊藤邦雄 (監訳) 『戦略評価の経営学—戦略の実行を支える業績評価と会計システム—』 ダイヤモンド社。

4. 成績評価の方法 (Grading)

評価の要素	ウェイト
出席率	10 %
授業への参加度 (事例, 討論, 調査)	40 %
ホームワーク (事前・事後課題の提出)	50 %

5. 成績評価の基準 (Grading Criteria)

秀 (100～90) : 業績測定・評価システムについて秀でた理解力を示し、経営管理上の現象について秀でた分析をすることができる。

優 (89～80) : 業績測定・評価システムについて優れた理解力を示し、経営管理上の現象について優れた分析をすることができる。

良 (79～70) : 業績測定・評価システムについて基本的な理解力を示し、経営管理上の現象について分析をすることができる。

可 (69～60) : 業績測定・評価システムについて基本的な理解力を示すものの、経営管理上の現象について分析をすることができない。

不可 (59～0) : 業績測定・評価システムについて十分な理解力を持たず、経営管理上の現象について分析をすることができない。

6. 履修上の注意事項 (Remarks)

テキストの正確な理解、それに基づいた批判、建設的な議論の展開を望む。